

1. 概論

- 1.1. 森林美学と景観生態学の関連
- 1.2. 森林美学の概要
 - 1.2.1. 森林美学の発展と展開 (ドイツと日本での展開: 造園学・森林風致計画へ)
森林管理の基本は狩猟学の側面が強い
(領主の狩猟が上手くできるような森造り→野生動物管理)
 - 1.2.2. 北海道大学における展開 (新島善直・今田敬一/ 伊藤精悟・小関隆祺)

2. 森林美学の系譜とその視点

- 2.1. 自然に習う施業法へ
……ドイツの造林学者 Gayer らの思想
- 2.2. 経済性と「森林美」の追求の問題点
……特に土地純収益説 vs. 森林純収益説
- 2.3. 日本人の森林 (自然) 観 — 森林文化論への展開 —
筒井迪夫…今田敬一との縁の紹介
- 2.4. 森林の多機能 (緑の回廊計画など)
- 2.5. 森林美学の今日的意義
Waldästhetik (森林美学)
über Forstwirtschaft, Naturschutz und die Menschenseele
(森林科学、自然保護 そして魂の安らぎのために)
Wilhelm Stölb 著 (ミュンヘン大学林学出身) 2005 年刊行の紹介



林内美の創造
(Wil 氏のカレンダーより)

3. 森林の「空間的規制」 Räumliche Ordnung

- 3.1. 秩序付け—Ordnung ist das halbe Leben (整理整頓がドイツ人の気質) —
東洋の知恵; 風水の視点、蔡温の山気論「林政八書」
- 3.2. 森林利用学の視点 (特に風雪害に耐性のある森造り) と林内作業法
- 3.3. 景観整備の森林生理生態学的基础

4. 森林施業法

- 4.1. 針葉樹一斉林から混交林へ — 生物多様性の視点 —
森林景観を創る主役 (野生生物管理と里地里山の保全)
- 4.2. 混交林への誘導技術と空間的規制
— 強度間伐と関連して — 「ポステル」間伐の概説、鋸谷式間伐の紹介
伊藤精悟・清水裕子氏 (長野県・NPO 森林風致計画研究所)
- 4.3. 森林風景「保育」のための基本原理: 西洋美と日本美
- 4.4. 環境変化の森林景観への影響予測

5. 巨樹保全と森林景観の整備

- 5.1. 森林純収益説と巨樹の保護 + 「古事の森」構想の紹介
……森林自体の存在の生む価値とその高度化
- 5.2. **フォレスト・スケープ**と実践
- 5.3. 森林景観の整備
……由田幸雄氏 (林野庁・日光・福島森林管理署の実践例から
← 堀・香川・奥氏らのフォレスト・スケープの紹介)
- 5.4. 景観管理と侵入種 — 保全生態管理の視点 —

6. 森林経理学の視点…… (秋林幸男氏担当)

- 6.1. 森林経理学論争と歴史
- 6.2. ファウストマンの理論 (森林資源経済学の視点から)
- 6.3. 再び、土地純収益説から森林純収益説へ